

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第2グループ(宮前平・平・白幡台)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 宮前平子ども文化センター ①年間延べ利用者数	37,921人	32,971人	②年間延べ利用団体数	635団体	591団体		
2 富士見台小学校わくわくプラザ ①登録者数	490人	439人	②年間延べ利用者数	25,706人	23,319人			
3 宮前平小学校わくわくプラザ ①登録者数	229人	246人	②年間延べ利用者数	13,243人	14,316人			
4 土橋小学校わくわくプラザ ①登録者数	482人	490人	②年間延べ利用者数	25,634人	23,774人			
1 平こども文化センター ①年間延べ利用者数	38,959人	33,559人	②年間延べ利用団体数	364団体	366団体			
2 向丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	293人	323人	②年間延べ利用者数	17,656人	15,991人			
1 白幡台子ども文化センター ①年間延べ利用者数	21,064人	22,926人	②年間延べ利用団体数	377団体	381団体			
2 白幡台小学校わくわくプラザ ①登録者数	126人	128人	②年間延べ利用者数	7,009人	6,462人			
3 平小学校わくわくプラザ ①登録者数	202人	207人	②年間延べ利用者数	9,929人	9,484人			
収支実績	単位:円							
1 収入								
指定管理料	157,251,829							
2 支出								
人件費	140,607,085							
管理費	10,541,431							
事務経費	7,195,491							
その他経費	9,886,851							
合計	168,230,858							
3 差引	-10,979,029							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由)	・仕様書や事業計画にある「安心して楽しく過ごせる居場所の提供」、「地域と連携し地域に即した事業展開」、「効率・効果的な事業運営」を適正に行うことができている。 ・また、宮前平こども文化センターにおいては、平成28年度から新たに、近隣にある高齢者のグループホーム「愛の家」との交流事業を始め、館で作成した手作り玩具で遊んだり、けん玉、あやとりなどを教えてもらったりして、多世代の交流を図りながら、新たな地域とのつながりを作ることができている。 ・さらに、白幡台こども文化センターにおいては、合築施設である白幡台老人いこいの家との連携モデル事業として、7月の早い段階から、夏野菜農園収穫祭を実施した。 ・このことがきっかけとなり、10月の合同祭りにおいては、28年度から老人いこいの家のボランティアの協力を得ることができ、世代間で深い交流ができるようになった。 ・土橋のわくわくプラザにおいても、老人ホーム「くらら宮前平」へ訪問をし、高齢者と触れ合う機会を創出するなどの取組により、保護者懇談会などでも、子どもたちの健全育成の取組について、高い評価を得ている。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ニーズについては、利用者や保護者からのアンケート調査の実施、運営協議会、子ども運営会議、保護者懇談会を通じた意見を集約し、適切な対応が図れている。</li> <li>・また、苦情等の意見を少なくするため、意見要望については、その館内だけではなく、法人本部を含め、館長会議等で情報を共有し、定期的にな例検討を行うとともに、利用者からの意見を聞くために、日々のコミュニケーションの向上を意識したことで、意見が寄せられる前に、ニーズとして取り入れ、適切な対応に努めることができている。</li> <li>・さらに、その意見に対して、宮前平こども文化センターにおいては、乳幼児室に「にこにこノート」を設置して、意見等をとらえる機会を設けているが、新たに館長も、そのノートにコメントをすることにより、より情報交換の機会を多くするような工夫をしている。</li> <li>・特別な配慮の必要な子どもへの対応については、学校の生徒指導担当から職員だけではなく、臨時職員の方へも研修を実施するとともに、法人で巡回相談員を配置して、館ごとに研修を行い、共通理解をもって対応ができている。</li> <li>・また、宮前平こども文化センターにおいては、不登校で見守り支援の中学生の居場所として、学校と常に連携しながら育成支援を行った。</li> <li>・学校及び行政機関などとの連携については、わくわくプラザにおいて、利用している児童について、わくわくプラザの利用時間であっても、学校に通っている児童であることについて、共通理解をしており、円滑な協力体制ができている。</li> <li>・施設・事業の広報については、乳幼児、小学生、中学生、高校生向けに、事業計画を上回り、ほぼ毎月たよりを発行するとともに、こども文化センターたよりについては、利用実態に合わせ、管轄外の小学校へも配布するなど、柔軟な対応が図れている。</li> <li>・運営協議会及び保護者懇談会については、事業計画通り実施している。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができている。研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、職位ごと、分野ごとの研修を実施するなど、体系的・計画的かつ多様な研修が行われていた。個人情報の取扱いについては、法人で定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報漏えいの事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の保守管理については、利用者が安心して利用できるよう点検に関する事項を定めたチェックリストに基づき、スタッフが定期的に点検を行い、必要に応じた維持・補修が行われ、安全確保が図られている。</li> <li>・利用者の安全確保については、全職員の普通救急救命講習の受講、AEDの点検、わくわくプラザにおける登録時のアンケート提出によるアレルギー情報の把握など、種々の安全管理対策を行っている。</li> <li>・防犯対策及び災害時の対応としては、館ごとに地域の安全マップを作成し、利用者の意識向上を図るとともに、不審者対応マニュアルの作成、不審者対応・災害時対応研修の開催、災害備蓄品の常備、避難訓練の実施等、防犯・防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者制度導入以前から委託事業者として、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行っていた経験を活かし、52施設の指定管理者として、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や職員研修、偏りのないサービスの提供が行えており、グループとしては、デイキャンプ、けん玉交流会等を開催するなど、利用者の要望を活かしたグループ合同行事や事業が展開できている。

また、各館においても地域ボランティア講師の協力を得て、野菜の栽培・収穫等特色ある活動を行い、それぞれが利用者の独自の要望を取り入れ実施するなど、利用者の交流を促進した。

さらに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、連携モデル事業を実施している白幡台こども文化センターだけではなく、合築施設を中心に老人いこいの家とイベントを通じた交流を行っていた。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの来館者が利用しやすい環境の整備に努め、地域と連携をし、地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者、障害者、子ども、子育て世代、今後何らかの支援が必要な人にとって、日頃から顔が見える関係づくりを行える場所としてづくりを進めること。

また、いじめや友人関係などの課題を抱えた子ども・若者が多い中、自宅・学校以外の居場所としての機能を強化するとともに、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。